



# 歯っぴ～噛む噛む

Happy come come



## 生え始めの永久歯『幼若永久歯』って何？

幼若永久歯とは、乳歯が抜けて新しく生えてきたばかりの永久歯のことです。この時期の歯は、大人の歯（成熟した永久歯）と比べていくつかの特徴があり、特に虫歯になりやすい状態にあります。

### 【幼若永久歯の特徴】

#### 生え始めは「未熟」な歯質

幼若永久歯は、歯の表面のエナメル質の石灰化（硬くなること）がまだ不十分で、むし歯になりやすいです。石灰化は生えてきておよそ2～3年かけて少しずつ成熟していきます。



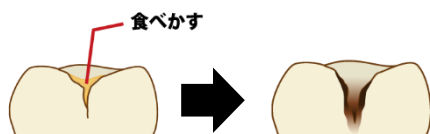
むし歯菌の出す酸に弱く、むし歯になりやすいです



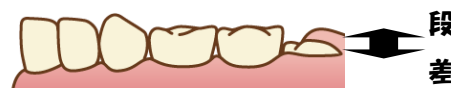
唾液中のミネラルを取り込み、成熟していきます

#### 汚れが残しやすい

奥歯の幼若永久歯は、表面の溝が深く複雑な形をしています。また、生え始めは、まだ背が低かったり、一部だけ生えていたりして、歯ブラシが届きづらく汚れが残しやすい時期になります。



溝に食べかすや歯垢がたまり、むし歯菌の住処になります



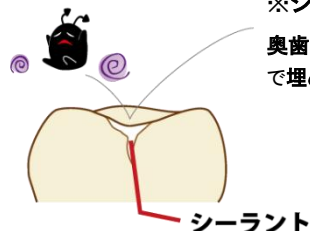
段差ができ、汚れが残しやすい原因になります

### 虫歯にならないために



#### フッ化物の利用

フッ化物は歯質を強くし、むし歯予防に役立ちます。



#### シーラント

歯の溝を埋めて、汚れがたまるのを防ぎます。

※シーラントとは  
奥歯の溝を樹脂（プラスチック）で埋める処置です。



#### 仕上げ磨き

生え始めの歯をしっかり磨き、磨き残しを除去します。

フッ化物の塗布や、シーラントは歯科医院で受けることができます。定期的な受診をこころがけましょう